



脳は変えられる。

**BrainSuite**  
ブレインスイート



30代からの認知症予防検査



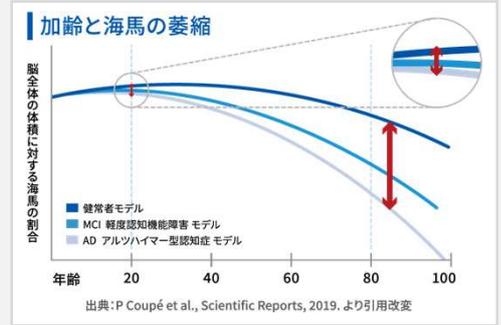
脳のパフォーマンスチェック



紹介動画

かいば  
**脳[海馬]**は30代から  
年齢を重ねるごとに萎縮する。

運動不足、睡眠不足、ストレス過多、食事バランスの偏りなどにより **脳[海馬]の萎縮のスピードが早まる**ことがわかっています。



かいば  
記憶を司る**脳[海馬]**は  
いくつになっても育つ。

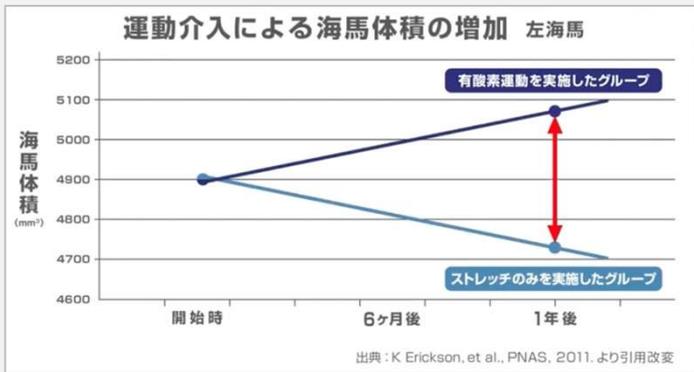
生活習慣の改善で  
**海馬を大きくできる**ことが  
確認されています。

早めの予防行動で  
脳は変えられます



瀧 靖之 教授

東北大学加齢医学研究所  
医師・医学博士



ブレインスイート検査とは

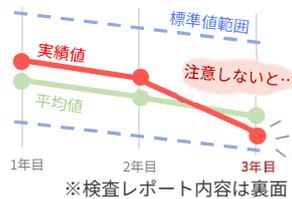
01 測定する

脳MRIとAI(人工知能)で  
脳(海馬)を測定



02 認識する

同世代と比較し  
脳(海馬)の状態を認識



03 行動する

生活習慣を見直し  
脳に良いことを行う



04 改善する

脳(海馬)の体積Up  
認知症予防へ



脳は変えられる。  
**BrainSuite**  
ブレインスイート

当院で  
受診できます  
※自由診療

オプション料金

※人間ドックのオプションで脳MRI(22,000円)を受ける方が追加可能

+11,000円(税込)

コース例)

生活習慣病予防健診 + 脳MRI + BrainSuite 38,282円(税込)

人間ドック(基本) + 脳MRI + BrainSuite 75,900円(税込)

ご予約・お問い合わせはこちら



ホームページ



082-262-1400

(土日祝日を除く 9:00~16:00)

詳細は健診センターに  
お問い合わせください。

## 海馬体積と推移

海馬には認知機能が低下をする"前"から萎縮する特性があるため、健康なうちから海馬の大きさを知ること、予防行動につなげるきっかけを得ることができます。

### ① 海馬体積—自分自身の経過観察—

MRI画像から脳を立体構成し、海馬の体積を測定します。性別や体格も海馬の体積には関わってきます。

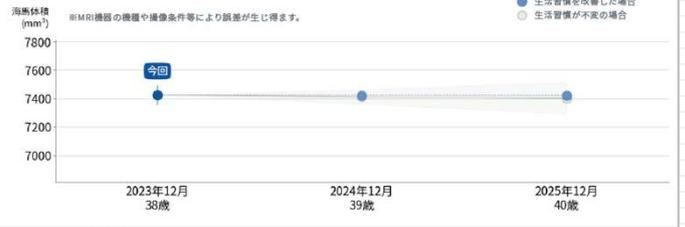
**7,425** mm<sup>3</sup>

前回 - mm<sup>3</sup>



① 海馬体積 (mm<sup>3</sup>)  
海馬は左右に2つあり、それぞれの体積を合算した数字で評価する。

② 海馬占有率 (%)  
頭蓋内の容積に対し海馬が占める割合。海馬占有率により、体格差などの影響はなく相対評価できる。海馬占有率は1%以下となるため、0.01%単位となる。



## 海馬占有と推移

頭蓋内の容積に対して海馬の占める割合を「海馬占有率」といいます。健康な同性・同年齢の標準値と比べることにより、海馬の萎縮傾向を評価することができます。

### ② 海馬占有率—同性同年齢との比較観察—

頭蓋内の容積に対し海馬が占める割合を算出した数値です。海馬占有率は、体格差等に影響を受けずに統計データと照らし合わせ評価することを可能にした、脳k学研究の評価手法です。

**0.51** % (標準範囲 0.45 - 0.53 %)

前回 - %



## なぜ海馬占有率で比較するの？

海馬占有率を算出することで、身長や性別といった体格差等を考慮した評価が可能となります。

## 海馬占有率の同性同年齢比較

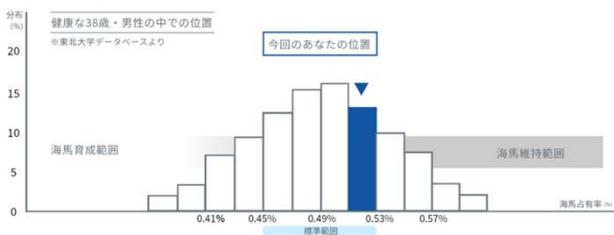
健康な同性・同年齢と比較し、どのあたりに位置するかをグラフ化します。

## 海馬占有率の10年後予測

生活習慣などを見直した場合とそうでない場合の10年後の海馬占有率を予測します。

### 海馬占有率による評価

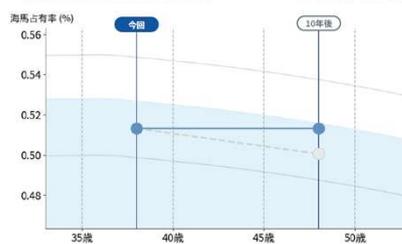
同性・同年齢における標準範囲を中央とし、右は海馬占有率が高いことを、左は海馬占有率が低いことを示しています。



### 海馬占有率の変化予測

海馬を維持・育成するための行動を行った場合と行わなかった場合における、10年後の海馬占有率の予測です。

※生活習慣の改善は、有酸素運動を一定量行った場合を想定。  
※生活習慣が不安定は、加齢による海馬萎縮を想定。



海馬は、運動や食生活等の生活習慣の改善により、新しい神経細胞を作る「神経新生」が生じる部位です。たとえ萎縮が進んだとしても、生活習慣の改善により成長する可能性があります。海馬を健康に保つことは、記憶力の向上だけではなく、脳全体の健康にも良いとされています。

マイブレイン※

**MyBrain** があるから  
“生涯健康脳”が目指せます。

※マイブレイン：受診者専用ページ

## 脳健康に役立つ情報が充実

「認知症にならないために」知っておきたい情報を随時更新しています。

## オンライン問診・テスト

脳に影響を与える生活習慣の評価や、現在の認知機能の状態を知ることができます。

## オンライン健康相談 ※要予約

ブレインスイート開発元であるCogSmartの専属医師・看護師による相談が受けられます。

## 結果をいつでもチェック

撮影したMRI画像や結果レポートをいつでも確認できます。

## ビューワーでMRI画像を確認

ご自身の脳画像を様々な角度から確認できます。

